

資料3 市民福祉に関する意識調査

1. 調査の目的

次期市民福祉総合計画の策定にあたり、「市民福祉」に関する市民の意識を把握し、今後の福祉施策検討等の基礎資料とし、次期計画に反映させることを目的として、意識調査を実施しました。

2. 対象者

神戸市内在住の20歳以上の市民約1万人（単純無作為抽出）

3. 調査方法

郵送によるアンケート方式

4. 調査期間

平成22年3月20日～3月31日

5. 回収数（回収率）

4,292件（42.9%）

6. 調査項目（主なもの）

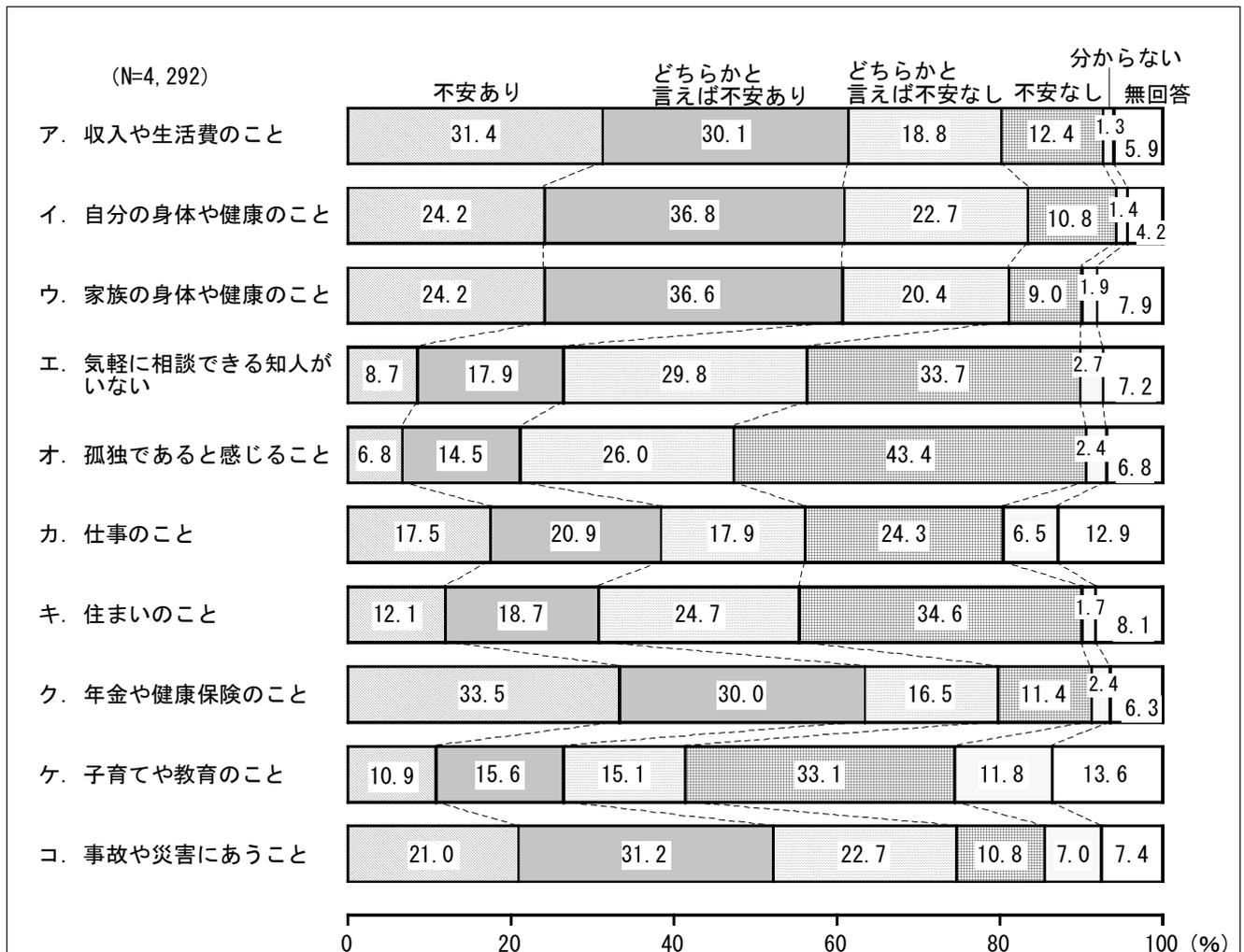
調査項目	質問項目
(1) 日常生活上の不安について	日常生活における不安
(2) 地域とのかかわりについて	地域における福祉の問題 近所付き合いの状況 地域活動への参加状況 地域のつながりに対する考え 地域福祉活動の活性化に必要なこと 事業者に期待する役割 市民と行政との関係に対する考え NPO法人に対して期待すること
(3) 福祉施策やサービスについて	市の相談窓口に対する考え 福祉に関する情報の入手先
(4) ボランティア活動について	ボランティア活動への参加状況 参加しているボランティア活動 ボランティア活動参加にあたって感じること ボランティア活動への参加条件 社会貢献に対する考え方

7. 調査結果

(1) 日常生活上の不安について

【日常生活上の不安】

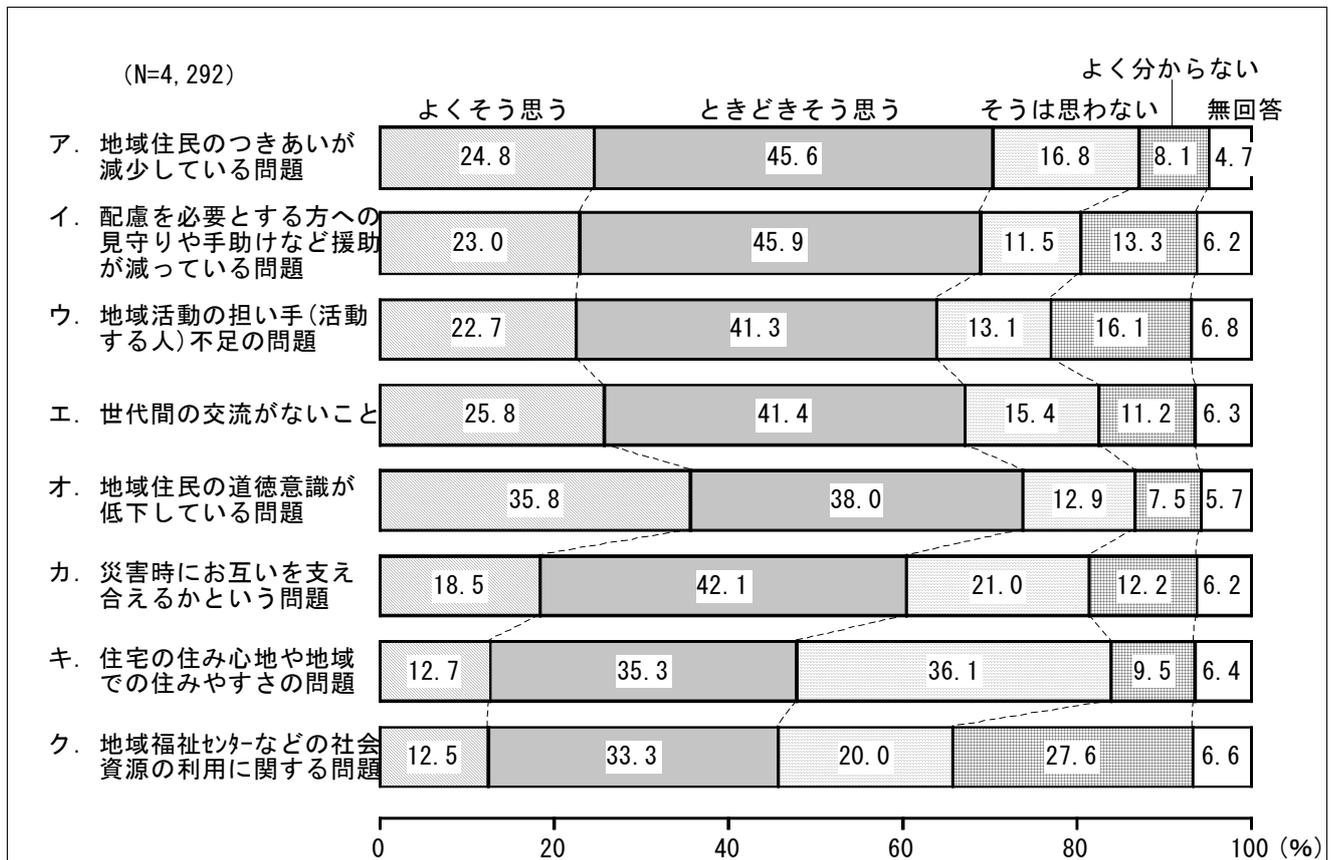
日常生活上の不安として、主な 10 項目についておたずねしたところ、不安があるという割合（「不安あり」、「どちらかと言えば不安あり」の計）が『ク. 年金や健康保険のこと』で 63.5%と最も高く、次いで『ア. 収入や生活費のこと』61.5%、『イ. 自分の身体や健康のこと』61.0%、『ウ. 家族の身体や健康のこと』60.8%などとなっています。



(2) 地域とのかかわりについて

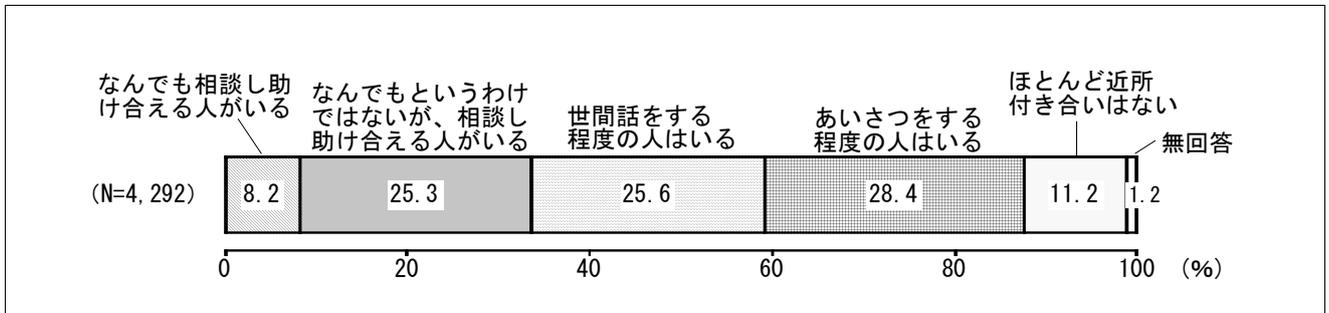
【地域における福祉の問題】

地域における福祉の問題として、主な8項目についておたずねしたところ、問題だと感じている割合（「よくそう思う」、「ときどきそう思う」の計）が『オ. 地域住民の道徳意識が低下している問題』で73.8%と最も高く、次いで『ア. 地域住民のつきあいが減少している問題』70.4%、『イ. 配慮を必要とする方への見守りや手助けなど援助が減っている問題』68.9%、『エ. 世代間の交流がないこと』67.2%などとなっています。



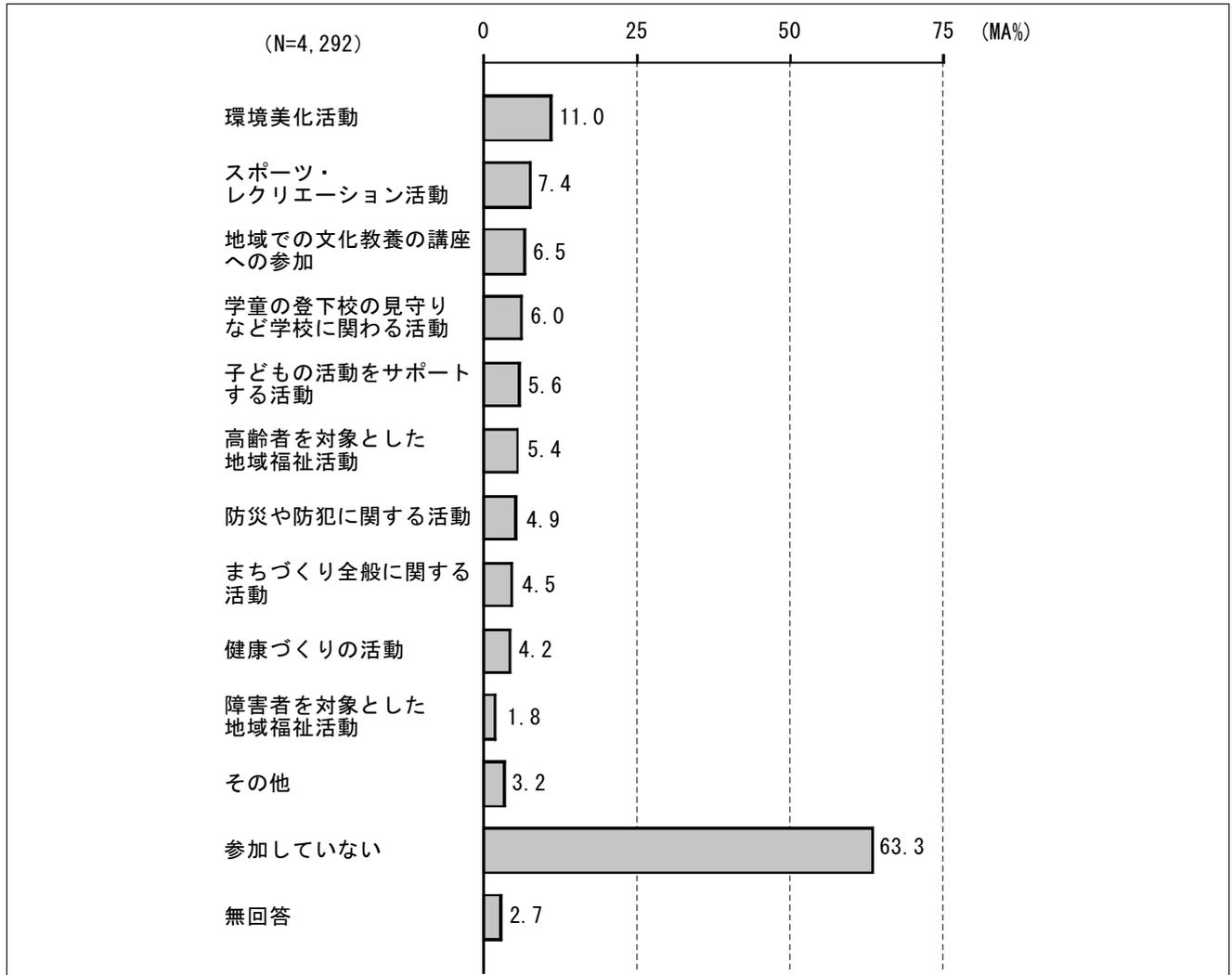
【近所付き合いの程度】

近所付き合いの程度についておたずねしたところ、「あいさつする程度の人はいる」が28.4%と最も多く、次いで「世間話をする程度の人はいる」25.6%、「なんでもというわけではないが、相談し助け合える人がある」25.3%などとなっています。



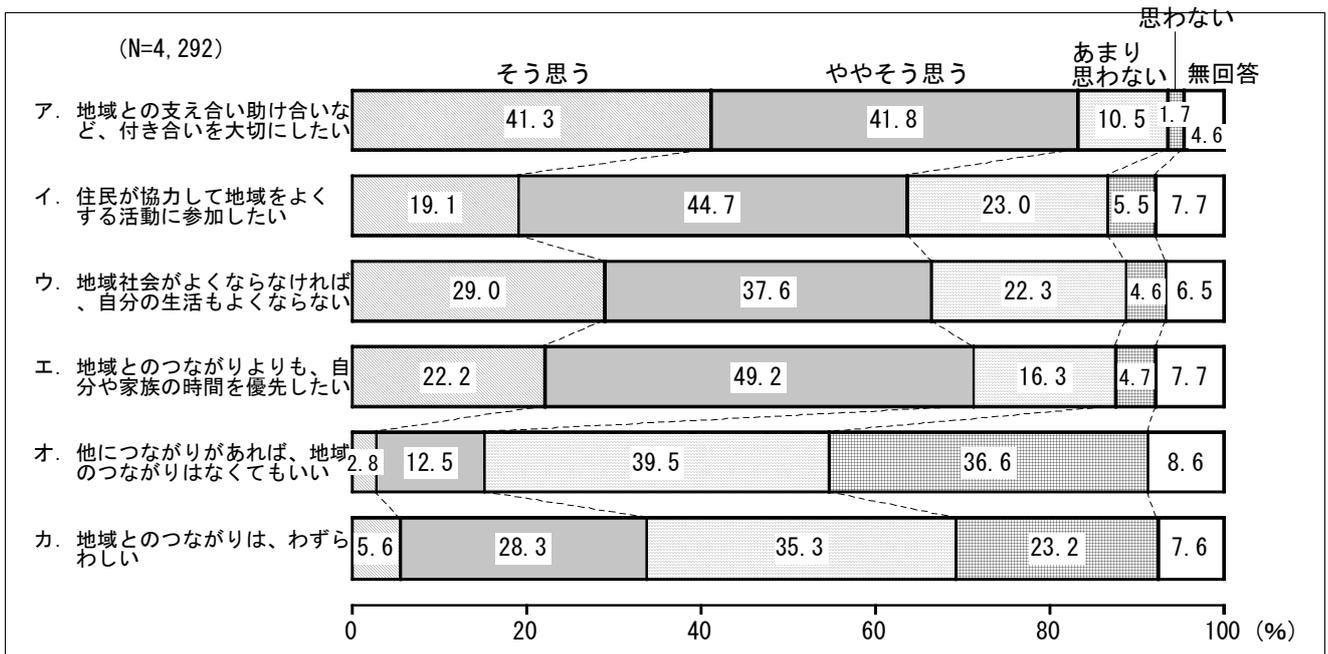
【地域活動への参加状況】

地域活動への参加状況をおたずねしたところ、「参加していない」が63.3%を占めています。一方、いずれかの活動に参加している人の内訳としては、「環境美化活動」が11.0%と多く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動」7.4%、「地域での文化教養の講座への参加」6.5%などとなっています。



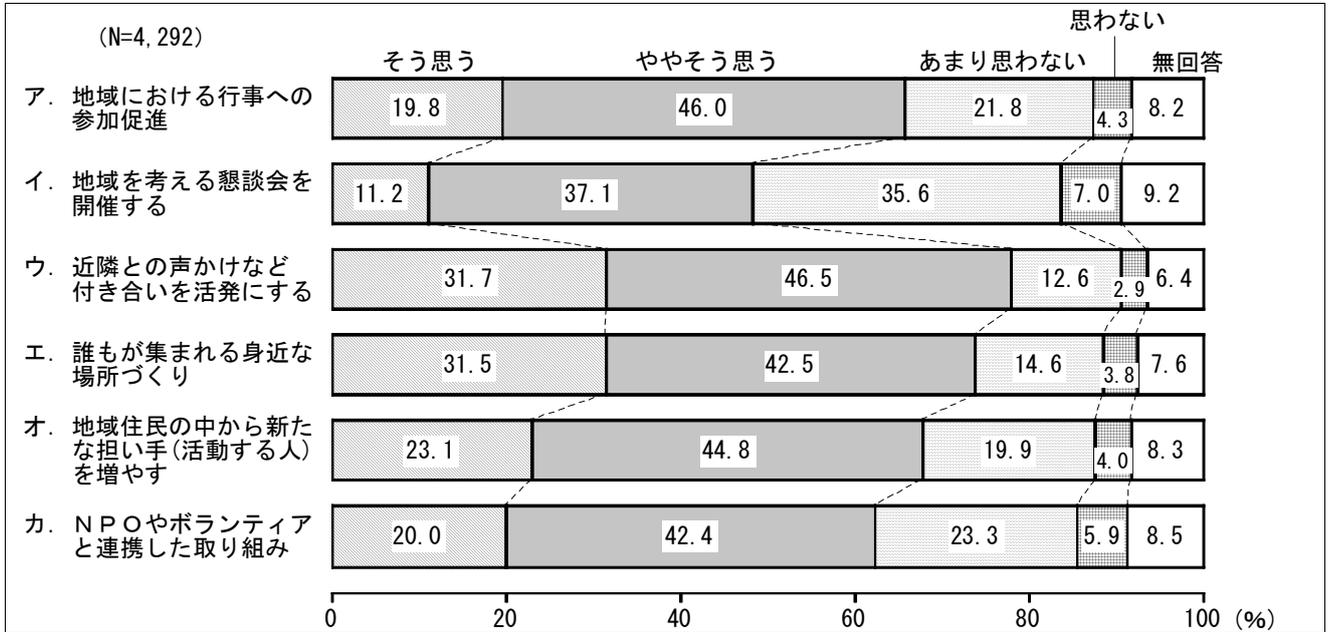
【地域のつながりに対する考え】

地域のつながりに対する考えとして、主な6項目についておたずねしたところ、そう思うという割合（「そう思う」、「ややそう思う」の計）が『ア. 地域との支え合い助け合いなど、付き合いを大切にしたい』で8割強（83.1%）と最も高くなっているものの、『エ. 地域とのつながりよりも、自分や家族の時間を優先したい』で7割強（71.4%）と次いで高くなっています。一方、『オ. 他につながりがあれば、地域のつながりはなくてもいい』では15.3%、『カ. 地域とのつながりは、わずらわしい』では33.9%にとどまっています。



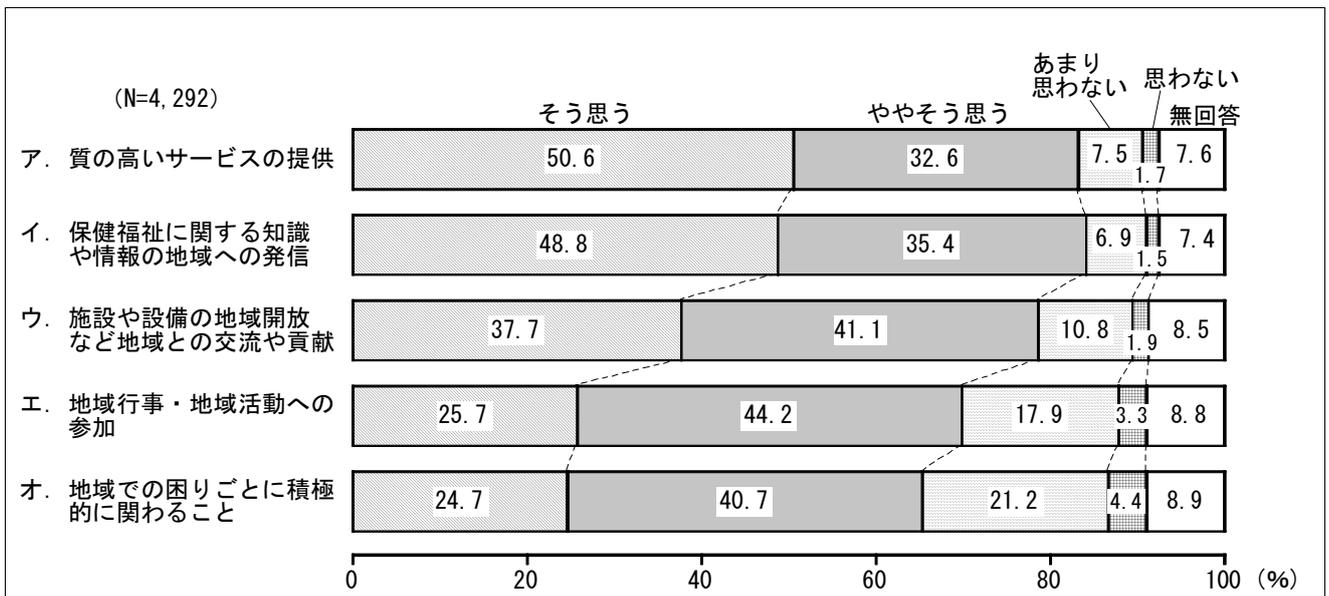
【地域福祉活動の活発化に必要なこと】

地域福祉活動の活発化に必要なこととして、主な6項目についておたずねしたところ、必要と感じている割合（「そう思う」、「ややそう思う」の計）が『ウ. 近隣との声かけなど付き合いを活発にする』（78.2%）、『エ. 誰もが集まれる身近な場所づくり』（74.0%）でともに7割台と高くなっています。



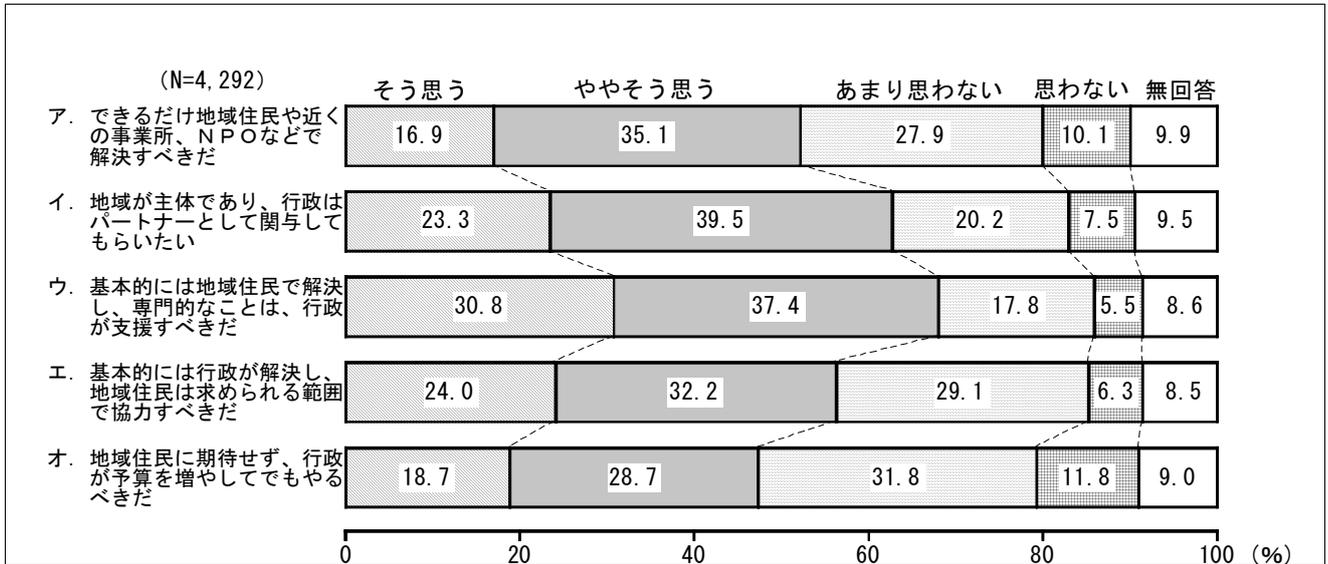
【事業者に期待する役割】

保健福祉サービス（老人ホーム、障害者施設、保育所など）を提供する事業者に対して期待する役割として、主な5項目についておたずねしたところ、期待するという割合（「そう思う」、「ややそう思う」の計）が『イ. 保健福祉に関する知識や情報の地域への発信』（84.2%）、『ア. 質の高いサービスの提供』（83.2）でともに8割台と高くなっています。



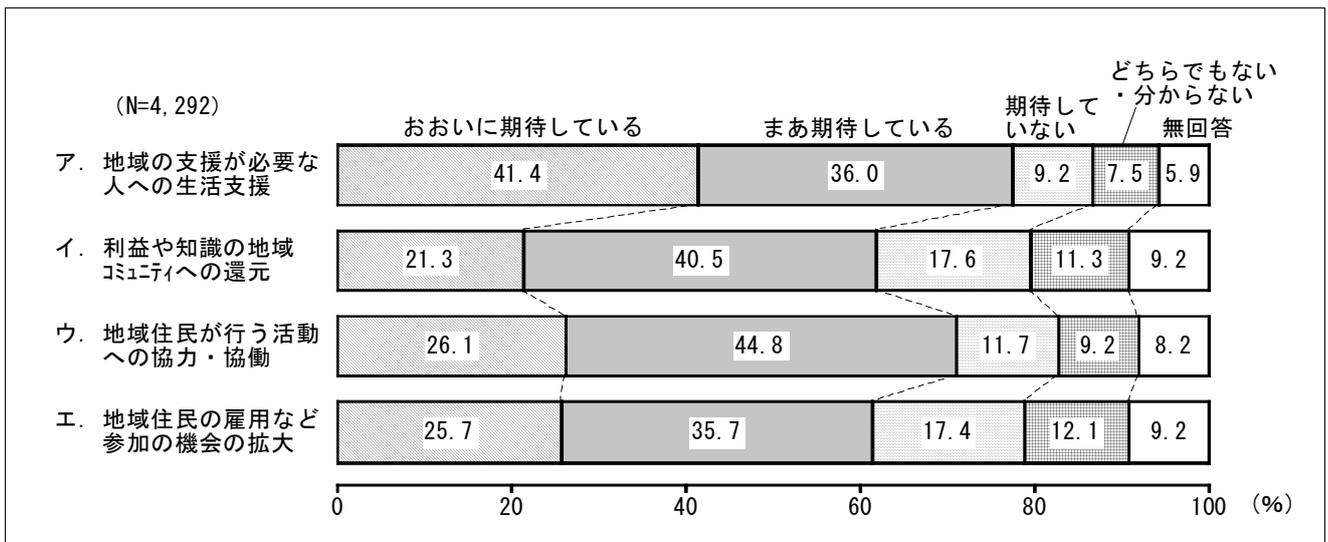
【市民と行政との関係に対する考え】

地域の福祉を充実させていく上での市民と行政（神戸市）との関係として、主な5項目についておたずねしたところ、そう思うという割合（「そう思う」、「ややそう思う」の計）が『ウ. 基本的には地域住民で解決し、専門的なことは、行政が支援すべきだ』で68.2%と最も高く、次いで『イ. 地域が主体であり、行政はパートナーとして関与してもらいたい』62.8%などとなっています。



【NPO法人に対して期待すること】

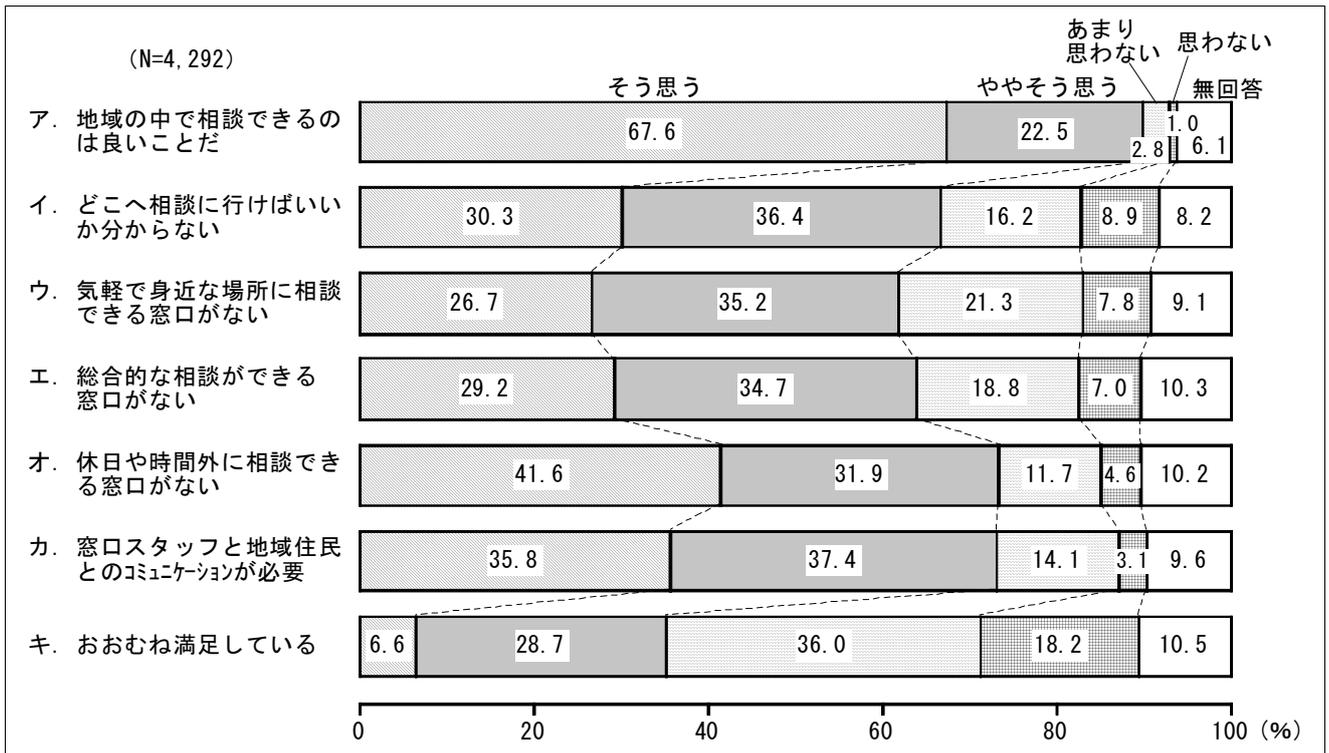
地域で福祉活動を行っているNPO法人に対して期待することとして、主な4項目についておたずねしたところ、「おおいに期待している」が『ア. 地域の支援が必要な人への生活支援』で4割強（41.4%）と最も高くなっています。



(3) 福祉施策やサービスについて

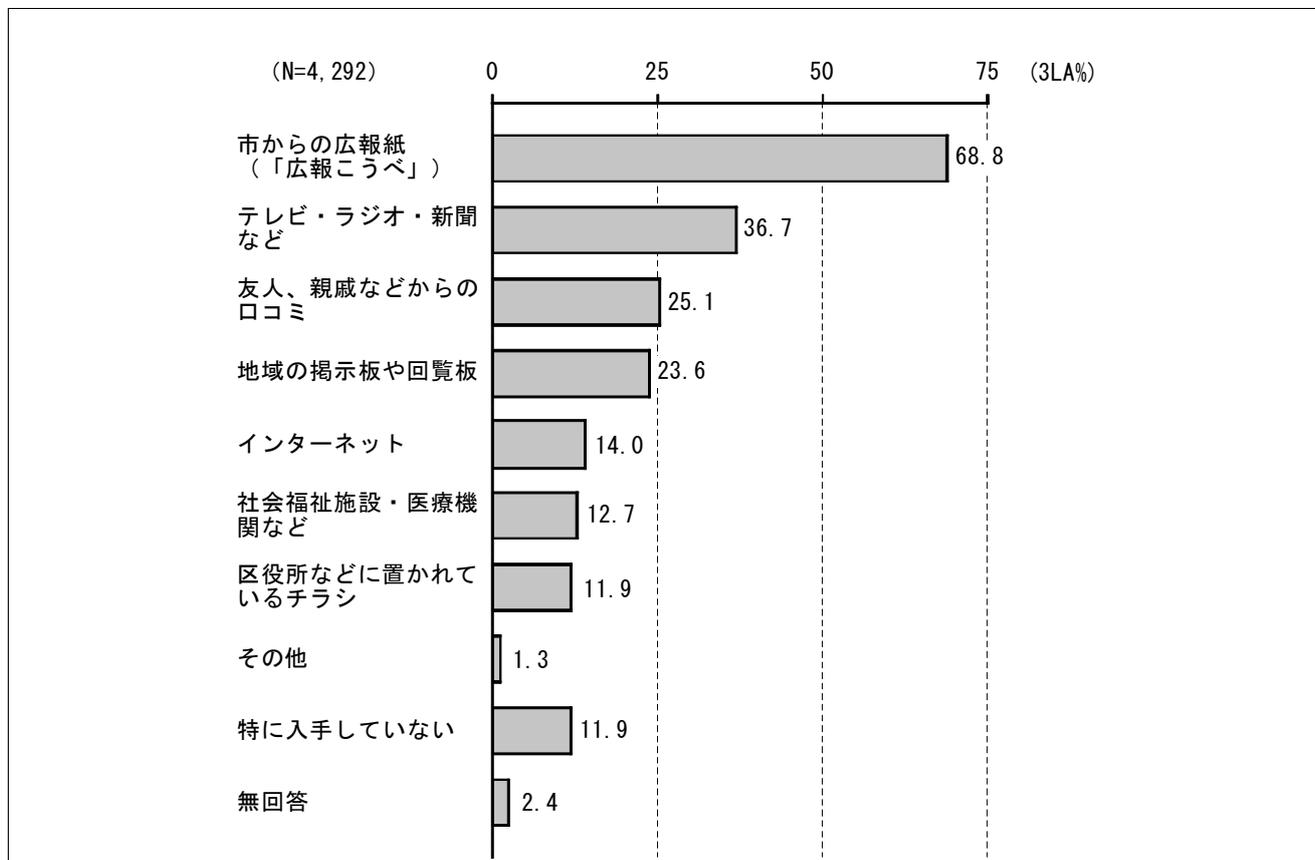
【市の相談窓口に対する考え】

福祉に関する市の相談窓口に対する考えとして、主な7項目についておたずねしたところ、そう思うという割合（「そう思う」、「ややそう思う」の計）が『ア. 地域の中で相談できるのは良いことだ』で約9割（90.1%）を占め最も高くなっています。



【福祉に関する情報の入手先】

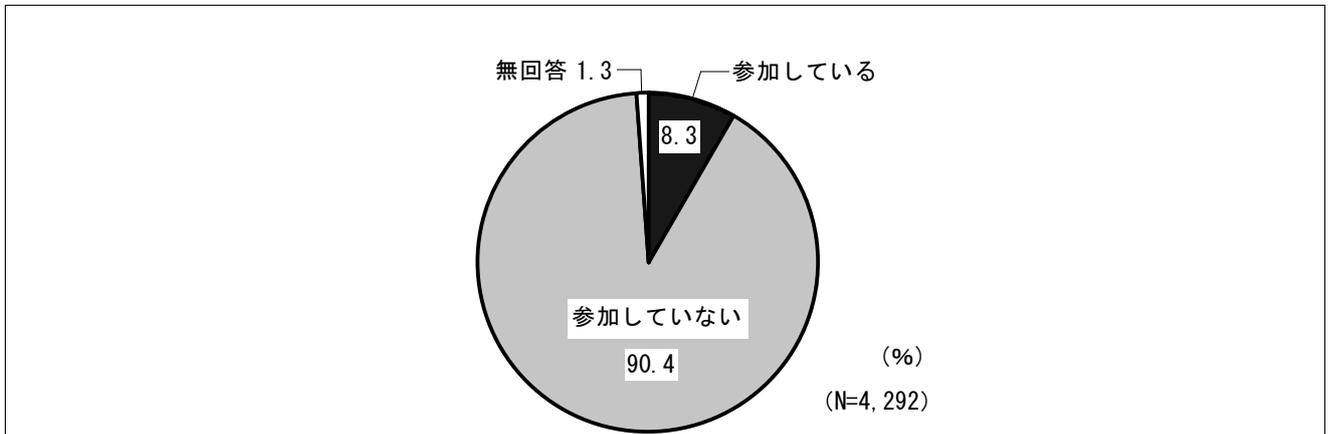
福祉に関する情報の入手先をおたずねしたところ、「市からの広報紙（「広報こうべ」）」が68.8%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞など」36.7%、「友人、親戚などからの口コミ」25.1%、「地域の掲示板や回覧板」23.6%などとなっています。



(4) ボランティア活動について

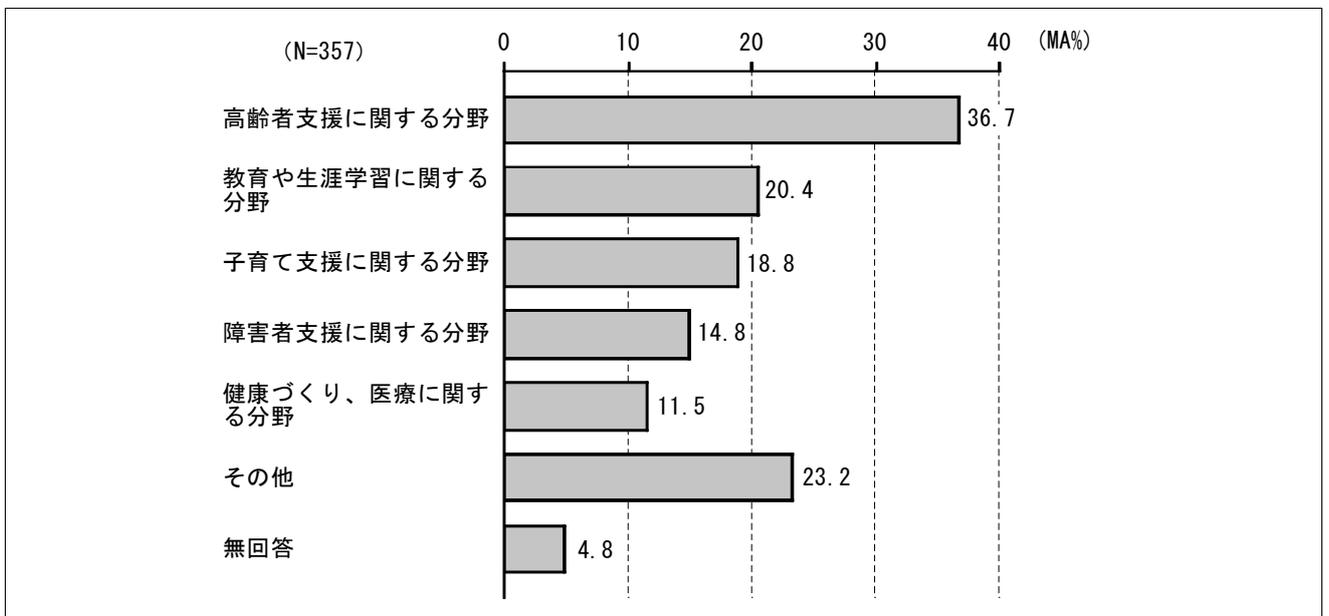
【ボランティア活動への参加状況】

ボランティア活動への参加状況をおたずねしたところ、「参加していない」が約9割（90.4%）を占めています。



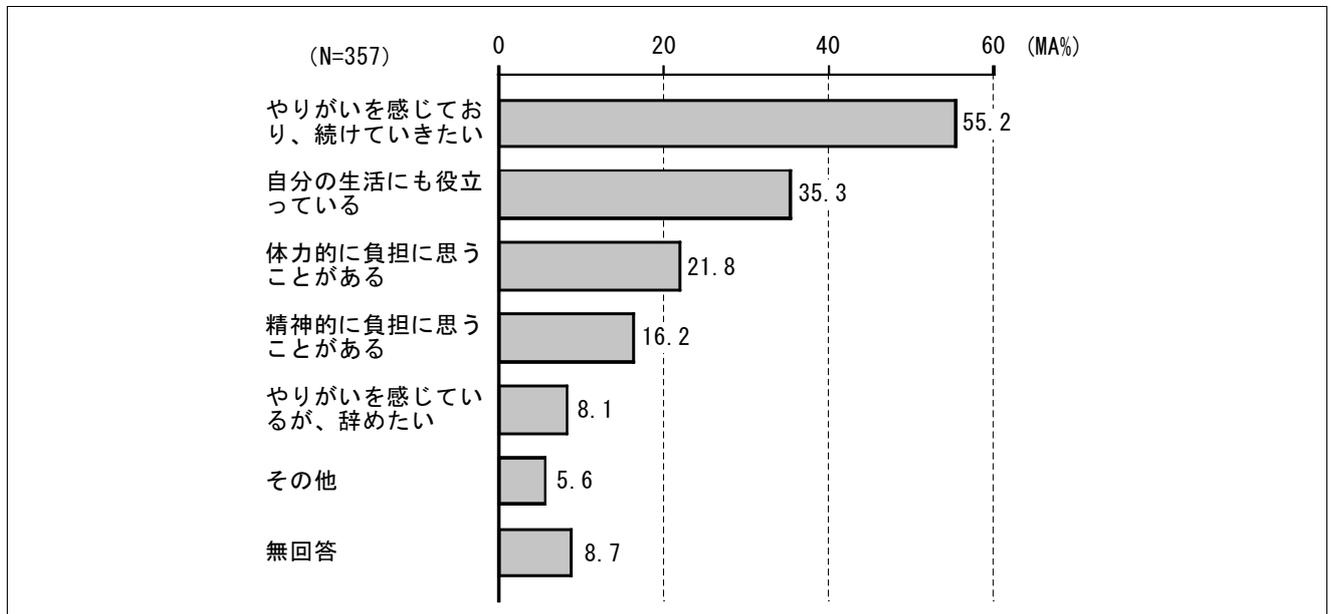
【参加しているボランティア活動】

定期的にボランティア活動に参加しているという人にその活動内容をおたずねしたところ、「高齢者支援に関する分野」が 36.7%と最も多く、次いで「教育や生涯学習に関する分野」20.4%、「子育て支援に関する分野」18.8%などとなっています。



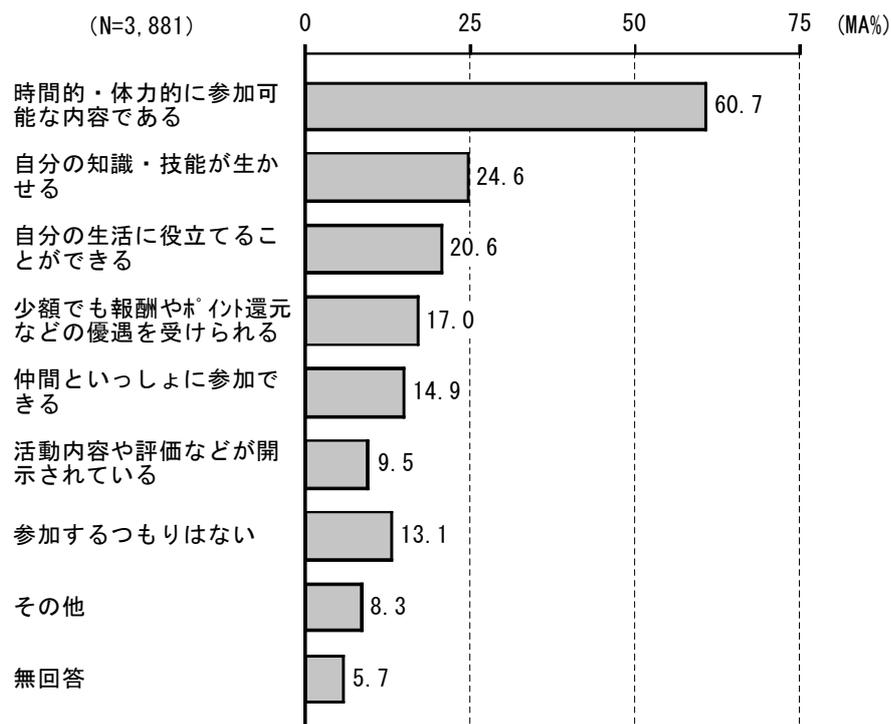
【ボランティア活動参加にあたって感じること】

ボランティア活動への参加にあたって感じることをおたずねしたところ、「やりがいを感じており、続けていきたい」が55.2%と最も多く、次いで「自分の生活にも役立っている」35.3%などとなっています。



【ボランティア活動への参加条件】

ボランティア活動に参加していないという人に、活動への参加条件をおたずねしたところ、「時間的・体力的に参加可能な内容である」が60.7%と最も多くなっており、次いで「自分の知識・技能が生かせる」24.6%、「自分の生活に役立てることができる」20.6%などとなっています。



【社会貢献に対する考え方】

社会貢献に対する考え方についておたずねしたところ、「自分のことは自分であることが社会貢献である」が 27.0%と最も多く、次いで「働くことが社会貢献である」17.8%、「地域活動への参加が社会貢献である」14.1%などとなっています。

